

千葉市動物公園で混雑予測の配信や混雑状況を見える化するサービス等の実証実験を実施します ～スマートシティ実証補助事業活用プロジェクト第1弾～

千葉市は、今年度より新たに創設したスマートシティ実証補助事業を活用し、千葉市動物公園においてAIやデータを活用した来園者向けのサービス向上等に資する実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 実施場所

千葉市動物公園（若葉区源町280番地）

2 実証実験の概要

(1) 園内の混雑予測情報の配信

正門・西ロゲート・北ロゲートにカメラを設置し、来園者がゲートを通過する際にAIが人数のカウントを行い、リアルタイムの来園者数を把握するとともに、過去の来園者数・天候・気温のデータ等と掛け合わせ、AIが一週間先までの来園者数の予測を行い、園内の混雑予測情報としてホームページ等を通じて外部配信します。

今回の実証実験では、近隣区域の人流データも活用し、AIの予測精度を高めるとともに、リアルタイムの来園者数の傾向から当日の来園者予測を補正するなど、先進的な試みも行います。

なお、本情報は園内職員の適正配置や問い合わせ対応時の参考とするなど、職員向けの活用可能性も検証します。

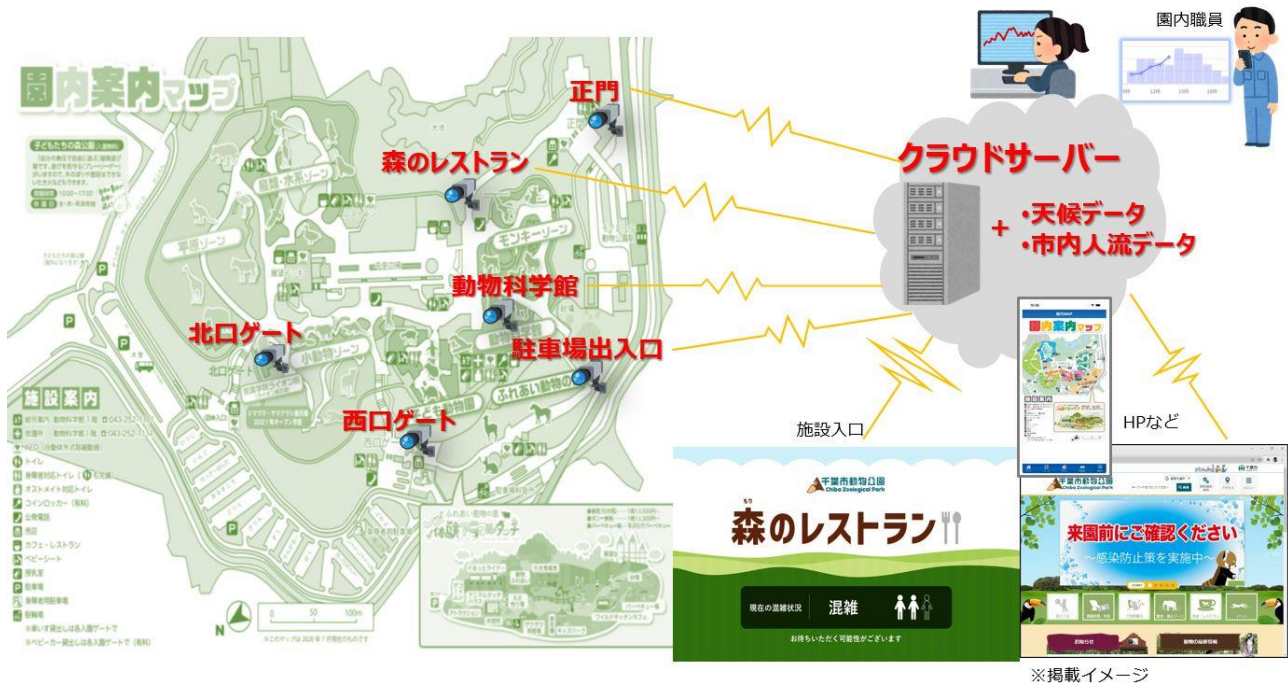
(2) 園内施設の混雑状況の見える化

園内の「動物科学館」の入り口および「森のレストラン」の室内にカメラを設置し、AIが人数のカウントを行い、滞在人数を把握するとともに、両施設の入り口付近にモニターを設置し、現在の混雑状況をホームページ等を通じて外部配信します。

(3) 駐車場の混雑状況の配信

駐車場の出入口にカメラを設置し、車がカメラを通過する際にAIが入退場車両数のカウントを行い、リアルタイムの駐車台数を把握するとともに、駐車場の混雑情報としてホームページ等を通じて外部配信します。

【実証概要（イメージ図）】



※これまで動物公園では、「動物科学館」および「森のレストラン」の混雑状況は施設外からは確認できませんでしたが、入り口のモニターやホームページ等を表示することにより、入館・入店のタイミングが判断しやすくなります。

また、園内および駐車場の混雑情報についても、来園前に確認できるようになります。

3 実施事業者

日本システムウェア株式会社（共同事業者：インテル株式会社）

4 実施期間

令和4年7月20日（水）～令和5年2月28日（火）

※来園者向けの情報配信の開始は、8月中旬頃を予定しております。

5 個人情報の収集について

本実証では、来園者がカメラを通過する際に、映像を保存することなくAIが即時に人数をカウントするため、個人情報の収集は行いません。

【参考】スマートシティ実証補助事業とは

スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、地域課題の解決や新たな価値の創造に資する民間企業等が行う実証事業の実施に要する経費等の補助を行う事業。

今年度から新たに創設した事業であり、今回が第1弾となります。

問い合わせ先

【スマートシティに関すること】

総合政策局未来都市戦略部スマートシティ推進課 電話 245-5427

【実証実験に関すること】

都市局公園緑地部動物公園 電話 252-7566